

令和6年度 大船渡市防災観光交流センターアドバイザーボード 議事録

日時：令和6年8月26日（月）15：00～

場所：おおふなぽーと2階 多目的室

次 第	担 当	発 言 内 容 等
1 開会	事務局	皆様方には、何かとお忙しい中をご出席いただきまして、誠に感謝する。 ただいまから、大船渡市防災観光交流センターアドバイザーボードを開会させていただく。 次第4の議題、(1)の「委員長の互選及び副委員長の指名」まで、進行を務める。
2 委嘱状交付	事務局	新委員に委嘱状を交付する。 委嘱状については、それぞれ座席の方に置かせていただいているので、ご確認をお願いする。 なお、昨年度までは委員の任期を1年としていたが、今年度から2年に改正している。
3 あいさつ	都市整備部長	本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。先ほどは委員の皆様に委嘱状を交付させていただきました。皆様の豊富な知見に基づく適切なアドバイスを今後も必要としておりますので、これからの2年間どうぞよろしくお願いいたします。 さて、東日本大震災の発生から13年が経過し、当市もコロナ渦を経まして新たなステージを向かえました。そうした中、今年1月の能登半島地震をはじめ8月の日向灘を震源とする地震に伴い、「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど、いつまた当市で災難が発生してもおかしくないということを実感いたしました。今後も、中心市街地のまちづくりや被災跡地の利活用といった課題解決のほか、災害への備えのにつきましても、全力で取り組んでまいります。 最後になりますが、本日のアドバイザーボードで各委員の皆様方から忌憚のないご助言等いただきますようお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
4 議 題(1) 【委員長・副委員長の指名】	事務局	それでは、これより次第4の「議題」に入らせていただく。 まず、議題(1)の「委員長の互選及び副委員長の指名」については、アドバイザーボード設置要綱第4条により、「アドバイザーボードに委員長及び副委員長各1人を置き、委員長は委員の互選によって定め、副委員長を委員の中から委員長が指名する。」としている。 選出方法について、意見等があるか。 <委員より事務局案を求める発言あり> ただ今、事務局案の提案を求める発言があったがいかがか。 <委員より異議なしとの発言あり> それでは、臂徹委員を、私から事務局案を提案させていただく。 アドバイザーボードの委員長にはお願いしたいと存じますが、いかがか。 <異議なしとの発言あり> 次に副委員長の指名を委員長にお願いする。
	臂委員長	副委員長には、北原啓司委員を指名する。
	事務局	それでは、副委員長に北原啓司委員にお願いする。 ここからは、「アドバイザーボード設置要綱」第5条の規定により、委員長が議長となるため、臂委員長に議長を務めていただく。 それでは、臂委員長、よろしくお願いします。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
4 議 題(2) 【助言を求める 事項について】 アンケート実施 結果及び助言に 関する対応状況 についてほか	臂委員長	本日の会議は、概ね 1 時間を目安に途中で休憩をはさみ、進めていきたい。 それでは、議題(2)「助言を求める事項について」のアンケート実施結果及び助言に関する対応状況について、観光物産協会から説明をお願いします。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<アンケート実施結果及び助言に関する対応状況について説明。> ※資料 1
	臂委員長	前回のアドバイザーボードで、公表する時にどういう提出方法をしていくかという話題があったと思う。今のこの速報的にグラフとコメント、集計表を、例えばPDFでお出ししていくのか、ホームページの中にレビューというかコメントの方を書いたような形で市民の人に分かりやすく出していくかとか、その辺りはどうか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	ひとつひとつ対応しようとは考えている。令和 5 年度に実施したものから、内容をもう一度精査した上で、クロス集計した上で、それを公表させていただこうと考えている。
	臂委員長	公表結果は、指定管理者や市の方からグラフに対してのコメントは書いてはいないのか、意見自体を評価するというものは。
	土地利用課	ない。
	臂委員長	そういうのがついていて、ある程度初見の人が数字だけで判断するのではなくて、実際運営側がどういうふうに判断してるのかがセットであった方が出す情報としては親切だと思うので、ぜひ検討いただきたい。情報の公開の仕方ところで留意点ももし柴山先生からあれば何かご意見いただければと思う。
	柴山委員	留意点に関して、今回まとめていただいた『おおふなぼーとのご意見』だが、これはそのまま出してしまうと意見を伺いましたで終わってしまうので、「こう対応します」とか、「これに関しては検討中です」とか、そういうふうになければならない。全部できるわけではないので、「これに関してはちょっとできかねる」とか、しっかり書いて全部できそうな雰囲気になってしまわないようにした方がよい。なるべくお答えして、「それを変更しますとなかなかこの施設上の利用で難しいことがある」というふうに書いていただける方がよいと思う。 そして、かなり細かいので、もう少し削減しても良い気がする。そのまま言葉を載せている感じがあるので、もう少し文章を付け加えたりして分かりやすい表現をした上で回答していただければと思う。
	臂委員長	ぜひ参考にしていただきたい。北原先生はいかがか。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	北原副委員長	例えば「ここが一時避難場所だと知ってましたか」を見ると、やはり知らない人がある。知らないというときに、これはどういうふうに知ってもらわないといけないのか。そういった通常分析しなければいけないものを1行2行のコメント良いので書いていた方が、そのアンケートに対して明確になる。例えば今回のアンケートで知っている人はどれだけいるか、今回 No. 2 の昨年のデータを見ると、少し低いくらいである。どうやって知っていくかといったときに、ホームページの力が必要なこととか、一層努力していきますとか、そういうコメントを入れれるところは入れてみていただきたい。1個1個の意見がある。強調するものは何か、何に注目すべきかを入力側で操作してもらった方が、分析を人にさせるよりは、そうなんだなと思わせるようなやり方が良い。
	臂委員長	1月に期間終了して集計されたアンケートで、掲示の時期は、もう出てはいるのか。
	土地利用課	公表は前の前の年のが出ている状況である。
	臂委員長	今の集計結果をいつ頃公表するかっていうと、例年よりスパンが長いんじゃないかと。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	先ほども説明したが、1年のスパンは少し長いんじゃないかというご意見をいただいたので、少なくとも今年中には公開したいと考えている。
	臂委員長	公開に関しても、何か時間のかかる理由があるのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	集計結果とご意見ということで、対応してる状況がそれぞれあって、その対応状況を踏まえた上で、このぐらいうちが対応しますというのを見せたいので、それをセットで挙げてたというのが現状である。
	臂委員長	それよりは速報性があった方が良い。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	集計結果を載せて、また次のタイミングで対応状況というので載せた方が良いのであれば、集計結果はすぐ載せる。
	北原副委員長	集計結果はそれはそれで十分。
	土地利用課	現状のこの資料1の集計結果をまず速報値で載せてしまっって、コメント入れたものはまた後日、時期ずらしてというイメージか。
	臂委員長	実際の対応状況を含めて1年後に出されてると思うので、今時点の、このグラフをどう捉えているかは載せた上でやった方が良い。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	観光物産協会 佐藤事務局次長	半年以上経っているので、今の対応状況を踏まえて、載せて、また改訂版を年末に出すという形で進める。
	土地利用課	基本はモニタリング指針があり、それに準ずる形なので、事業報告と同じように、5月末日をもって、5年度だったら6年の5月30日末日までに事業報告と一緒に。
	観光物産協会 佐藤事務局長	それは出している。
	土地利用課	だからそれを出したときに、自己評価として、先生方が言った1行のそのコメントがなければ。
	土地利用課	今後の提出の時期ですね。今後のホームページのアップの時期の話ですね。
	臂委員長	ころりんさんの方から、アンケートに関して何かあるか。
	おはなしころりん 江刺理事長	文章で寄せられた方々、厳しいお言葉も、それからお褒めのお言葉も、私たちにとっては張り合いになっているので、1つ1つ真摯に受け止めてまいりたいと思うし、気づかなかったことも教えていただいたので、やはりアンケートは重要であることを再認識している。ただ私たちの立場では難しいところもあるので、そこは相談しながらやっていきたいと思う。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	おおふなぽーとに対して意見の対応状況について、年度ごとの挙がったものを公表するのは良いが、その前の年のものも全部が解決してるわけではないので、情報を混在させるとちょっと分かりづらいというのもあるが、どのように掲載していけばいいか。
	臂委員長	タイトルで分けて整理していくのが最低ラインだと思う。
	柴山委員	1番下のところに「昨年度解決になりました」といった形で付け加えとか、そういうふうにしてやれば基本的には分かりやすい。ごっちゃ混ぜにするとよく分からなくなる。
	おはなしころりん 江刺理事長	このアンケートはいらっしゃった方々の印象のため、「居心地よく使っています」というようなところが多いと嬉しいとは思いますが、そもそもここに来ない人たちを呼びたいところもあるので、アンケートはアンケートとして、ここに来ない人たちはどうして来ないのかも知りたい。そこを改善していくともっと来てもらう、そして、来たならば居心地が良いということを実感してもらえてリピーターになるのではないかな。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	臂委員長	市の方で公共施設に関してのアンケートはあるのか。
	土地利用課	個別の指定管理者ごとに項目がある。大体似通ってはいるが、「この施設を利用するにあたって満足してますか」とか、「使いやすいですか」みたいな項目がある。
	臂委員長	全く今まで来たことない人とかに対して、全身的に調査できるようなものはないのか。
	土地利用課	今のところないと認識している。
	臂委員長	江刺さんの話から少しそれてまた戻るのだが、google プレイスには口コミの評価があつて、おおふなぼーにもついているが、この口コミへの対応は今どこで管理されてるのか。「綺麗だった」とか、良いコメントもある。「様々なイベントに参加させていただいて、スタッフの対応が温かいです」というのもそうだし、「老若男女楽しめる施設です」というのもあれば、「綺麗な建物だなと思いついてみたところ入口を入った途端、無愛想で何しに来的な受付で感じが悪かったです」とあまり良いコメントでないものもある。良いコメントにもコメントを返したりとか、悪いコメントに関しては、善意と受け止めて、そういう評価していただくこと自体も。そのコメントに対応するものだし、何かしら改善にはうまく活かして使った方が良い。82件、今口コミついている。そんなに馬鹿にならない。ご存知だったか。
	土地利用課	口コミには回答していないのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	していない。
	土地利用課	あと、2階の給湯室には直接ころりんさんだけが回答しているような形になっているが。
	おはなしころりん 江刺理事長	2階でのご意見等を、うちの対応が見える形にして、そしてこれの報告については年度ごとに観光物産協会に提出している。
	土地利用課	多分、全部下も含めての意見が結構あるので、それをころりんさんのネームで回答してるのはどうなのか。指定管理者の方ではちゃんと認識して回答してるのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	してる分にはちゃんとしているが、漏れてる部分はあるのかもしれないので、そこはもう少し連携取りながらやっていきたい。
	土地利用課	ころりんさんだけだと回答しにくいような文章だな、なんて思い

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		ながらいつも見ている。
	おはなしころりん 江刺理事長	「指定管理者にしっかりお伝えして対応してもらいます。」というふうな逃げになっている。
	北原副委員長	それだと指定管理者が何で答えないのであってしまう。
	土地利用課	分けないと全部ころりんさんの回答になってしまう。指定管理者で回答すべきものはしてやらないと。まかせっきりになってるので、それは改善して欲しい。
	臂委員長	今の話に加えてネット上の口コミの方も対応は改善して欲しいと思う。 また、認知度を高める方法として、現状を知る意味では、アンケートで「おおふなぼーのことご存知ですか。」と聞くのはあるかと思うが、今まで来たことない市民の皆さんにおおふなぼーを知っていただいたりとか、そういったことを探していきたい。お二方からご助言いただければありがたいなと思う。実感としてどのくらい市民に認知されているのか。
	おはなしころりん 江刺理事長	名前は知っている。「防災センターいいよね」と言われて、「いや、おおふなぼーとですから」とそのたびに言いながら、多くの人が知ってる感じはある。そして、幅広いイベントがされればされるほど、そのために来るので、初めて来たという方はいつまで経ってもいるので、このまま広げていきたい。あまり固定されたものでなく、色々な企画にすると、今まで来なかった人も来るのかなとか思いながら活動はしている。
	臂委員長	もちろん公共施設なので幅広くというところはあるだろうが、ある程度その施設としての目指すものと逸脱してまで色々な人に来て欲しいとは思わないと思う。そのバランスが難しいが、大体こういうとき、北原先生に、「はっち」を聞いてしまう。参考までに、そんなにターゲットを絞って集客してる感じもしないが、根底にはこだわを感じる、そういう施設の集客や認知の向上の取り組みで、例えば指定管理者の中にすごく広報をリアルに立てかけた人がいて特別なことをされているのか、あるいは口コミレベルでスプレッドしているものなのか。
	北原副委員長	「はっち」の場合は特にそういうことはしていない。文句を言いにとんどん来てくださという話をしてるからこそ、東日本大震災時にもみんな逃げ込んだ。親近感があるから。別に避難施設じゃない。みんな勘違いして来て、仕方なく市は24時間やる。みんなの顔が見たいから。そういう意味から言うと、特別なことをやってるわけではない。例えば、飲み会の時に待ち合わせを「はっち」でって。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		みんなの場所のイメージを強くしてるという話だから。さっきの「おおふなぼーと知ってましたか」というのも、結構いる。一時避難場所というのはまだまだだけど、おおふなぼーとの名前自体は知っている人はいる。 さっきのアンケートの意見に対して的確に、ちょっとした、ほんの数行でも良いから、どんな方に対しても「ありがとうございました」と書いて、「また来てください」と話をしていくのは、面倒くさいかもしれないけどとても大事な話である。そういうのは苦情でなくて、仲間を増やしていくし、このまちを知ってる人たちをどう増やしていくかという話でいうと、丁寧に答えること自体がもしかしたらプロモーションに繋がるような気がする。
	柴山委員	「はっち」という言葉は基本的になんでこんなに使われるかなと思って。色々会話の中で普通に「はっち」と出てくる。なんでかなと思ったときに、全国区のイベントは結構やられてる。おおふなぼーとに関してはなかなかそういう幅広い層に付け入る形のものはいそこまで多くはない。そういうところで知名度というところが、そこまであんまり伝わってないのかなと思う。
	北原副委員長	三文字ですよ。「はっち」だから。八戸のハチだから。
	柴山委員	大きいことをしろと言ってるわけではないが、色々な人の興味が湧く、今は市内ではすごく人気度が高いものになってきたので、県外にこういうふうな形でやれるというものが出てきたのはすごく良いことである。なので、「はっち」のイベントとかを参考にしながら見ていただくのも良いかもしれない。
	臂委員長	直接的な手段だけではなくて、イベントの告知等を機会として使っていただければと思う。 他にアンケートに対して、検討に付随することも含めて、何かあるか。 次に、「指定管理者の戦略ロードマップ及び施設稼働率の検討について」ということで、お話を伺えればと思う。指定管理者さんの方から願います。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<指定管理者の戦略ロードマップ及び施設稼働率の検討について説明。> ※資料2

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	臂委員長	すごく見やすいと思う。 あとはいくつかそれぞれの課題と思ったが、まず 1 つは目標の立て方。ハードルの高さや、どこの関係者の範囲で目標を共有して、これでいこうという形になっているか。それと、いくつか先生方でも気になってるところがあるかと思うが、具体的なやり方っていうものに関しては、いま to do とタスクが混在している感じがするので、その辺りはどう整理していくのかを確認できれば。そして、実績で書いていただいたものは、例えば令和 5 年度を例にとれば、これをこうしていかなきゃとか市とはどういう風に提携するのかで、いわゆる成功要因はどこにあるのかを考えていくとか、そういうことを前年度を振り返りながら必要かなと思う。 細かく 1 個 1 個はやらないまでも、その項目について考え方等先生方から 10 分休憩挟んだ後にいただくような形で、まずは休憩を 16 時 05 分まで休憩させていただければと思う。
	休憩	
	臂委員長	先ほどのお話にありましたとおり、この表に関してパーツごとに課題になっていることを出していければと思う。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	先ほど柴山先生と話して、1 点だけ変更点がある。情報発信手法の確立ということで、ホームページの更新回数について、令和 7 年度 150 回と話をさせていただいたが、根拠がないということで、2 日に 1 回ということで、180 回目標に訂正させていただきたい。
	柴山委員	まず 1 ページ目に関しては、その 120 回というのは 3 日に 1 回ということで、次は良かったら 2 日に 1 回という形でやっていただければと思う。 また、先ほどアクセス回数がかなり伸びているという話が出ているが、そこに対して分析があまりなされていないという気もした。数千回が何万回に変わったのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	令和 5 年度につきましては、6.1 万件である。
	柴山委員	かなりアクセス数が上がった。ただインフルエンサーがやったのか、youtube で誰かやったのか、それとも外の要因か何なのかというの分析をしないとあまり意味がなくて、それに対して効果的なものというのをしっかり見ていただいて、今後の方向性に役に立てただけならと思う。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	臂委員長	アクセス数の単位は何か。ユーザー数なのか、セッション数なのか、ページビューなのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	ページビューである。
	臂委員長	ページビューなら理由がありそうだ。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	柴山先生にも確認はしたが、ソフトが変わって若干増えた部分もあったので、本当かなと思う部分はあった。
	臂委員長	そういうのありそう。
	柴山委員	ただ、この頃ちょっとyoutuberも多くなって、そういうのを取り扱うものも増えてきて、もしかして関係しているかもしれない。
	臂委員長	その要因が知りたい。
	土地利用課	おおふなぽーとに対してか。物産協会に対してでもないし。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	物産協会も、何万回だったのが 30 万回になっていた。市の方で計算してるやり方があると思うが、それでも再度確認しても同じ結果だった。何かしら増えてる要因があるので、そこを時期と要因を確認していければと考えている。
	柴山委員	海外からの攻撃で上がっている場合がある。国別とか市町村別で取れるので、それを見ていただいて、海外からたくさんアクセスがあったらそれは攻撃だと思っていい。そうではなくて、日本全国で広がったりとかしたらインフルエンサーとか youtuber の影響か。それか大船渡だけで上がってくるんだったらまた違う要因がある。
	土地利用課	あとホームページの更新も、毎日毎日空き室情報の公開でカウントするだけでなく、中身の質を具体的に上げて欲しい。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	先ほど説明した通り、中身が重要だと思うので、そこには職員に情報共有しながら進めていきたいと考えている。まずは情報発信の量は最低限必要だと思うので、そこからまず基礎的な状況ではあるが、少しずつ改善していきたいと考えている。
	土地利用課	毎日見るけど、館の利用状況しか変わっていない。何が変わっているのか全然分からない。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	物産協会 佐藤事務局次長	職員にもお願いしてるのは、周辺地域のおおふなぼーとの周辺のかもめテラスとか、キャッセンとか、夢商店街の情報が少しでもあれば少しずつ取り入れてアップしてくださいって言うことは言っているが、まだ浸透していない。
	土地利用課	毎日 1 回ずつ。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	負けないように配信する。
	臂委員長	新着情報のリストが長いので、同じ項目が続くと続いていると感じてしまう。でも 11 件ぐらい表示された方が見たい情報は埋もれない。柴山先生から、中身の部分に関してどうか。
	柴山委員	防災学習は今どういうおすすめてしてるのか。来た時に「どこ行ったら良いですか」とか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	基本的に 1 階の防災ネットワークというものは浸透してると思うが、2 階で行っている防災学習の、展示をやってるか、今やってないのかというところでの話がくる。「ここでこういった防災学習ネットワークはあるんですよ」、それを説明したりはしながらも、展示を全て見たいのであれば、2 階でやってれば 2 階を紹介するし、それがやってない時には 1 番近いところで、もっと県内の全域、大きな情報を知りたい時には津波メモリアル、ということで紹介はしているところ。
	柴山委員	祈りの場とかは紹介しないのか。
	物産協会 佐藤事務局次長	「近場でそういったものないですか」と直接聞く方はいるので、そこはそこで紹介はしている。
	柴山委員	季節感とか色々あるので、それに合わせながらやって紹介していただければ。
	土地利用課	防災管理室からパンフレット来てると思うが、結構出るのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	出てる。「学ぼうさい」も結構出てる。物産協会で作ったチラシも出てる。ただ、どうしてもタッチパネルがタッチパネルだと認識されない。
	柴山委員	タッチパネルがタッチパネルかどうかよく分からないというのはなかなか使いづらいかもしれない。レイアウトのおさまりだとか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	そこは、以前お話いただいた通り、操作方法等を設置して、少しでも触っていただくというふうに思っている。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	北原副委員長	これまでのロードマップも見てきたが、形式がやっと定着してきた。少し前に進んだような気がする。昨年と同じようなこと書いてるのかなと思ったらそうでもない。そして最後に最終目標が書いてある。いま終わっていないと取り上げにくい、最終年度が終わった後に、これをどう評価して、市に持っていくかという時に、多分根本的に議論しなきゃいけないものが出てくる可能性がある。来年を通して、僕らは2年の任期になった。主に来年度どうしましょうねって話になるのかなと覚悟をした。
	臂委員長	指定管理期間で、達成したいものと、その現在値みたいなものがある。
	北原副委員長	最低目標を少し気にしないといけない。それよりもできたらもっと続けて活かしていきたい。今は5年目標にしているけど、その記録を超えて、やっぱりどんどんどんどんやっていきたいってときに、目的のイメージとしては上のレベルに持っていきたい。最終目標にあんまり惑わされないように、エンドレスで考えていかなければならない。
	柴山委員	そういえば昨年5周年になったが、何かイベントは行ったのか。
	土地利用課	子どもたち呼んでベンチ作ったりしている。あと、館内でもいくつかやっていた。
	柴山委員	毎年記念日はちゃんと宣伝するなりした方が良い。5周年、7周年ですというのはあった方が良い。
	臂委員長	北原先生柴山先生の方で、周年でこれは面白いなとか、これは毎年続けられそうだなといったイベントはあるか。キャッセンの周年をどう迎えるかが課題になっている。
	柴山委員	季節に合わせてやるのが良いと思う。
	土地利用課	来館者の延べ人数はどのくらいになったのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	すぐ出ない。また切りの良いところで10、30、50、100くらいまではやろうとは言っていた。30まではいったと思う。
	土地利用課	誕生日と来た人の節目。そういった10周年とか5周年とか、何万人来たんだというのはポイントになる。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	周年イベントも来館者数のイベントもお客様に感謝するという意味で何か還元できるようなものが1番良いのかなと思う。大きなイベントにすると少し大変な形になったりというのもあると思うの

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		で、できる限りやっていきたい。
	柴山委員	それだけでニュースソースになるような気がする。その部分でニュースに載ることが大事だ。
	臂委員長	市の方で、公共施設で周年を祝うものはないのか。リアスホールとか。
	土地利用課	施設の周年イベントというものはやっていない。来館者数とかはある。
	臂委員長	令和５年度の取り組みに対して６年度の取り組み、目標を書くとき、５年度の結果を踏まえて考えると思うが項目ごとに、これは順調に達成したとかレビューをしていったら良いと思う。
	柴山委員	おおふなぼーとってという名前が載ったというメディア報道は集計しているのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	していない。
	柴山委員	集計しておいた方が評価の指針になるので、別におおふなぼーと のことの取材ではなくても、おおふなぼーとという名前が載ればそ れはそれで良いので、ちゃんと施設が活用されて、なるべく報道に、 イベントの時には「おおふなぼーと」と入れといてくださいねって というような形で頼んでいただけたら。 資料３の話もして良いか。
	臂委員長	資料３について、説明をお願いします。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	<指定管理者の戦略ロードマップ及び施設稼働率の検討について説 明。> ※資料３
	柴山委員	稼働時間利用してるというのもそうだし、コロナから回復したと いうことがこの数字を見て分かるので、大変良いことだと思う。コ ロナ前よりも伸びてる数字状況になっているので、良い方向に進ん できている。前にも質問させていただいた時、市の利用がすごく多 かったが、今はどういう状況か。会議室は市から、市の委員会で使 われるっていう割合は昔より減ったか、増えたか、ステイ状態か。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	変わっていない。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	柴山委員	そんなに変わってないということで、前もお話した通り、もう結構限界に近い形になってきている。貸し出しに関しては、もっと細かくやるにはシステム導入しないと難しくなってくると思う。細かく入力できるようにするとか、また決済方法をアプリにするとか。そうしないと、今だとまだ問い合わせをやっているんで、そうすると、伸び率はなかなかこれ以上は難しいというのはある。なので、その部分でこれを上げる方向にさせるのか、その展開として、今両団体としてはどんな形で考えて考えているのか。もっと、伸ばしていきたいのか。
	観光物産協会 佐藤事務局次長	うちとしてはいつでも足引っ張ってる部分のスタジオとか外の駐車場とか、そういったものを使ってもらうような何か仕組み作りが必要なのかなというのがまず1点ある。もう1つは、ちょっと難しい話ではあるが、市内の公共施設が一律ではなくて、ここはここでもう限界を迎えそうな部分もあるので、できれば貸館の料金を上げれば。結構逼迫してる部分もころりんさんもちろんありますので、何か手立てがないものかなと。
	柴山委員	これからシステム導入するにしても、予算的な問題は多分関わってくると思うし、今のシステム上だと私の中ではこれが限界に近い。なので、どういうふうにやって収益を上げていくかというところは少し考えるべき。ピロティとか駐車場の利用に関してはしっかりお金を取るべきだと思う。
	おはなしころりん	貸館だが、早々と予約する方々も多いし、空き状況をお伝えすると、「空いてないんですか。」みたいな感じで、たくさんの方々が申し込まれているのは事実である。私たちもフル稼働でこの部屋作ったりとか、物品運んだりしている状況で、開館してからこんなに利用していただけるというのは、今年度はすごいなと思っている。という感じで、年々増えているのは確実にわかる。 どうして借りるのかと言うと、まず料金が安い。そして利便性が良い。その点を皆さんよくお話される。料金を上げたからといって、じゃあここを利用するのをやめようかというふうになるとは思えず、定期的に借りる人がほとんどである。1番初めはここは音楽ホールじゃないからということで、音楽を奏でる方々とか、コンサート関係はお断りするとか、ここジムじゃないからと言って、ダンスとかをお断りすることもやっていた時期もあったが、コロナを経て、利用していただけるならばどなたでもというふうに受け入れているうちに、ダンスからちょっとした音楽まで皆さんご利用になっているってところである。大変良い状態に来ているなと思っている。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	臂委員長	私の方でも、本当に使いたいときに予約ができないという経験、昨年何回かあった。そうすると、貸館については順調なのか。
	おはなしころりん	順調である。そしてフリースペースだが、やはり定期的に遊びに来る親子連れ、そして使わなければ和室を開放しているので親子連れが遊びに来る。 そのほかに自習スペース。ここは中高生、そして日中は大人の方々もかなり来ていて、時期によっては30人ぐらい高校生とか来る。空いている部屋を開放して勉強してください。それが口コミで広まり、たくさん子どもたちが来ているいい状況であるなというふうに思っている。
	臂委員長	江刺さんのお話をいただくと、100パーセントを目指していくのが正解じゃない気がする。平日と休みの日にその申し込みの競争率の違いとか、対応してみて、ここが上限だなというのを実感して思うことがあるとか、何か欲しいことがあるとか、そういうのが出て一緒に考えられたらと思う。数字は江刺さんが今はピークだなと感じるとか、やはり数字上の稼働率としては上がっているのか。
	おはなしころりん 江刺理事長	そう思う。スタジオ1・2の話が出たが、ファンのように使う方々が増えてきているので、楽器を扱う方や、高校生から、20代の方、30代の方、楽器をここで集中してできることが広まっている。吹奏楽の社会人サークルの方々とか、そこもまだ伸びるんじゃないのかなと思っている。すごい伸び代ではないが、もう少し詰めていく可能性もある。また、高校生が大高祭で発表するからとか、高校生自身がお小遣いから払って借りている。安いところである。
	土地利用課	ちなみに、稼働率の外への出し方が分からない。例えば、ここには載っていないが、あくまで館内の、建物内の稼働率で、外のピロティや駐車場は一旦抜いて、それで稼働率・利用時間数を出すとなったときに市は抑えとくべきなのか、それともブロック数で抑えた方がいいのか。
	臂委員長	イメージしてる稼働率を外に出すというのは、公開上の方向として外に出すということか。
	土地利用課	例えば、モニタリングを指定管理でやっていて、いま令和5年度の振り返りのコメント等書いてもらっているが、総括のコメントに稼働率が昨年の何パーから何パーになったので、とか、コロナが終わったので良くなりましたとか、書けるなら書きたいという思いがある。そのパーセンテージはどうやって考えたらいいかというのが分からなくて、もしよければお聞きしたい。

次 第	担 当	発 言 内 容 等
	柴山委員	この2つの出し方にはすごく良い形で出したと思っている。ブロック率でいけばかなり良いし、時間数としてはまだまだ70パーセントぐらいでもうちょっと詰められるところがあるよねっていう言い方も出てくるし。なので、ブロック率で考えて、中途半端な時間の取り方をするとところがあるので、いわゆる12時30分から1時30分、2時30分から4時30分までいうと、結構それは厄介な取り方である。今それをオッケーにしてしまってるので、結構そういうところでもっと詰められれば詰められる。12時半とかで取られちゃうと、意外に使い勝手良いけど他の人が取りづらくなってしまう欠点が出ちゃうので。大体区切り良くとってもらようにしていただかないといけない。両方出すのは良い話だと思う。分析しやすいとは私の中では思う。これだけ会話ができる。
	土地利用課	両方の視点で見るとこういうふうに変わっていて、こうしたいというふうな書き方が良いということか。
	柴山委員	ブロック率で見れば、基本的には時間が年々上がってきているというのがあったりとか。あと、使われてる時間をブロック率で見るとか。数字の見方だけである。どっちが良いかというよりは、どっちも利点はある。どっちも説明してどっちも上がってるから悪いって言い方はしなくて良い。ただ時間だけで見ると7割空いてるって思われてしまうのは少しもったいない。
	臂委員長	設定する指標は、市の方に採用が裁量があると思う。それは経年的に評価するのか、単年度で評価するのか。
	土地利用課	単年度の評価である。ただ、単年度評価だが、前年度とどう変わったかみたいなのところを書くポイントがある。他の指定管理者がそういうふうに行っているの、それを真似したいと思っている。前年はどうだとか、今年度こうなった、変わった、といった流れで書きたいと思っている。
	臂委員長	その他に関しては何かあるか。 ここで議事を閉じさせていただく。
5 そ の 他	事務局	それでは、次第5の「その他」に移りたい。事務局から連絡事項があるのでお知らせしたい。 今後については、1月頃に今回の意見を反映させた資料を照会をするのでよろしくお願いしたい。
6 閉 会	事務局	そのほか何かないか。 ないようなので、これをもって、大船渡市防災観光交流センター

次 第	担 当	発 言 内 容 等
		アドバイザーボードを閉会させていただく。 委員の皆様、大変ありがとうございました。